

「杜の都環境プラン」 定量目標の達成状況等について

「杜の都環境プラン」（計画期間：2011 年度～2020 年度）における定量目標 10 項目の達成状況は下記のとおりである。また、新たな「杜の都環境プラン」（計画期間：2021 年度～2030 年度）では定量目標 11 項目を設定している。

杜の都環境プラン (2011-2020)			(参考) 杜の都環境プラン (2021-2030)
施策体系	定量目標	達成状況	定量目標
低炭素都市 づくり	①温室効果ガス排出量 2020 年度における排出量を 2010 年度比で 0.8%以上削減 する 【目標値：764 万 t-CO ₂ 以下】	794 万 t-CO ₂ (2019 年度<速報値>)	施策体系が「脱炭素都市づくり」に変更 ○温室効果ガス排出量 (中期) 2030 年度における排出量を 2013 年度比で 35%以上削減する 【目標値：593 万 t-CO ₂ 以下】 (長期) 2050 年排出量実質ゼロを目指す
	②ごみの総量 2020 年度に 360,000t 以下と する	363,336t (2020 年度)	○ごみの総量 2030 年度におけるごみ総量を 330,000t 以下にする
資源循環都市 づくり	③リサイクル率 2020 年度に 35%以上とする	27.3% (2020 年度)	-
	④燃やすごみの量 2020 年度に 305,000t 以下と する	314,499 t (2020 年度)	-
	-	49,993t (2020 年度)	○ごみの最終処分量 2030 年度に 46,000t 以下にする
	-	471g (2020 年度)	○1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量 2030 年度に 400g 以下にする
	-	41.3% (2020 年度)	○家庭ごみにおける資源物の割合 2030 年度に 30%以下にする
自然共生都市 づくり	⑤みどりの総量（緑被率） 2020 年度におけるみどりの 総量について、現在の水準を 維持・向上させる 【基準値（2009 年度）：78.8%】	78.4% (2019 年度)	○みどりの総量 みどりの総量（緑被率）について、 現在の水準を維持・向上させる
	⑥猛禽類の生息環境 生態系の頂点に位置する猛 禽類の生息環境を維持・向上 させる	オオタカ及びビサシバに ついては、生息適地の 減少が見られる（2020 年度）	○猛禽類の生息環境 生態系の頂点に位置する猛禽類 の生息環境を維持・向上させる

	⑦身近な生きものの認識度 市民の認識度を現在よりも向上させる 【基準値(2010年度):440.7%】 (9種合計900%中の値)	505.3% (2019年度)	○身近な生きものの認識度 市民の認識度を現在よりも向上させる
快適環境都市 づくり	⑧環境基準の達成状況 大気や水、土壌などに関する環境基準(二酸化窒素についてはゾーン下限値)について、非達成の場合にはできる限り速やかに達成し、達成している場合にはより良好な状態を維持する	大気汚染・水質汚濁・騒音に係る基準について一部非達成(2020年度)	○環境基準の達成状況 大気、水、土壌及び騒音に関する環境基準(二酸化窒素についてはゾーン下限値)を達成する
	⑨環境に関する満足度 2020年度における市民の「環境に関する満足度」について、「満足している」と回答する人の割合を現在よりも向上させる 【基準値(2008年度):213.0%】 (8項目合計800%中の値)	209.2% (2018年度)	○環境に関する満足度 市民の「環境に関する満足度」について、全ての項目における満足度を現在よりも向上させる
良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり	⑩日常生活における環境配慮行動 2020年度における、日常生活における環境配慮行動について、「常に行っている」と回答する人の割合を現在よりも向上させる 【基準値(2008年度):632.3%】 (19項目合計1,900%中の値)	638.0% (2018年度)	施策体系が「行動する人づくり」に変更 ○日常生活における環境配慮行動 日常生活における市民の環境配慮行動(25項目)について、全ての項目における実践割合を現在よりも向上させる